

令和 5 年度
中海・宍道湖・大山圏域市長会
事業計画（案）

目次

1 令和5年度 中海・宍道湖・大山圏域市長会事業方針（案）	……p.1
2 一般会計	
(1) 事務局運営費	
①事務局運営費	……p.3
(2) 事業費	
1. 活力にあふれる圏域づくり（産業振興）	
①圏域企業の産業連携支援事業	
・圏域内企業情報データベースの充実、 圏域内企業のビジネスマッチング	……p.4
・産学・医工連携事業	……p.5
②圏域内企業の海外展開支援事業	
・海外商談会参加等支援事業	……p.6
・インドとの経済交流事業	……p.7
・台湾との経済交流事業	……p.8
③山陰いいものマルシェプロジェクト	
・山陰いいものマルシェプロジェクト	……p.9
2. 訪ねてみたい圏域づくり（観光振興）	
①一社）圏域観光局への負担金	
・一社）圏域観光局への負担金	……p.10
3. 次代につなぐ圏域づくり（保全・継承と活用）	
①自然環境の保全・活用事業	
・自然環境の豊かさ・保全に係る普及啓発	……p.11
4. とともに歩む圏域づくり（連携と協働）	
①圏域情報の共有・発信	
・圏域内外のエリアプロモーション	……p.12
②圏域内の連携・交流推進	
・圏域内の連携・交流推進	……p.13
・人材育成の共同化	……p.14
・文化・スポーツ交流促進事業	……p.15
・圏域情報活用推進事業	……p.16
・中海・宍道湖レガッタ開催支援事業	……p.17
・移住・定住促進事業	……p.18

- ③安心して暮らすことのできる環境づくり事業
 - ・防災対策の充実 ……p.19

3 特別会計 環日本海貨客船航路就航支援補助金

(1) 環日本海貨客船航路就航支援

- 1. 定期貨客船航路就航支援補助金 ……p.20

参 考 令和5年度 中海・宍道湖・大山圏域観光局当初予算（案）及び事業計画（案）

- 1 別紙1 「訪ねてみたい圏域づくり観光振興事業」の実施に関する協定書……p.22
- 2 令和5年度事業運営方針 ……p.24
- 3 令和5年度主要事業 ……p.25
- 4 一般社団法人中海・宍道湖・大山圏域観光局令和5年度当初予算（案） ……p.26
- 5 一般社団法人中海・宍道湖・大山圏域観光局事業実計画（案）
 - ①外国人誘客対策事業
 - ・クルーズ客船寄港時のおもてなし ……p.27
 - ・圏域インバウンドプロモーション ……p.28
 - ②国内誘客対策事業
 - ・国内広域観光プロモーション ……p.29
 - ・人口集積地（発地型）誘客プロモーション事業 ……p.30
 - ・圏域観光再生支援プログラム ……p.31
 - ③圏域観光の魅力アップ事業
 - ・圏域周遊促進及び受入環境充実 ……p.32
 - ④中海・宍道湖・大山圏域観光局事務局運営費
 - ・中海・宍道湖・大山圏域観光局の運営 ……p.34

令和5年度 中海・宍道湖・大山圏域市長会事業方針（案）

1 基本方針

令和5年度事業については、ウィズコロナへ潮流が強まる状況を踏まえ、新型コロナウイルス感染症の影響により停滞していた、海外に向けた取組みを推進するとともに、圏域の地方創生を力強く進めていくための基盤となる、高規格道路ネットワークの整備促進に向けた取組みを強化する。これにより、他の地域にない圏域の魅力を創出、発信し、圏域の一体的な地方創生の実現をめざす。

【台湾との経済等交流の促進】

令和4年度に締結した「中海・宍道湖・大山圏域市長会と台北市間の交流促進覚書」に基づき、国のデジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）を活用し、観光誘客・物産の促進に向けたプロモーション、産業・経済分野における連携・協力等、具体的な取組みを推進する「（仮称）台湾交流促進協議会」を組織する。両地域の企業連携を促進し、経済交流等の拡大を図り、圏域内企業の生産性向上や商品・サービスの高付加価値化を進め、地産外商による稼ぐ圏域、持続的な経済基盤の構築をめざす。さらに、台湾との経済交流促進を一つの成功モデルとし、他地域との経済交流についての足場を固めていく。

【圏域インフラの整備促進】

国主導の「中海・宍道湖圏域道路整備勉強会」、経済界を中心とした「8の字ネットワーク整備による効果分析検討会」、本市長会における「圏域8の字ルート研究会」が開催されるなど、圏域では、高規格道路による交通ネットワークの整備促進の機運がかつてないほどの高まりを見せている。この機会を逃すことなく圏域が一丸となり具体的な行動を展開する。圏域の総意としての強い想いを継続的に国に訴え続けていくために「（仮称）中海・宍道湖・大山圏域8の字ルート整備推進会議」を組織し、具体的な要望活動を展開していく。

【インバウンド再開に向けた取組みの強化】

これまでは新型コロナウイルス感染症の影響による行動制限がある中、マイクロツーリズムや圏域内周遊にも対応していたが、令和5年度は国の水際対策の緩和や大幅な円安傾向を踏まえ、本格的なインバウンド再開に向けた準備を着実に進めていく。特に圏域にダイレクトインできる東アジアをターゲットとした事業、2025年の大阪・関西万博を含む国内外の誘客回復に向けた事業を展開し、地域社会・経済・環境に好循環をもたらすコンテンツ、万博のテーマに沿ったツアーを造成する。これにより継続的な旅行者の獲得、圏域内周遊促進、滞在時間延長による旅行消費額増を図る。

2 令和5年度事業の主なポイント

(1) 活力にあふれる圏域づくり【産業振興】

○台湾との経済交流事業

- ・「台湾との経済交流促進による中小企業活性化事業計画」の策定による、具体的な経済交流の促進（新規）

○海外商談会参加等支援事業

- ・海外販路拡大、外国人観光客の誘致に向けた取組みへ補助金を交付（拡充）

(2) 訪ねてみたい圏域づくり【観光振興】

○外国人誘客対策事業

- ・東アジアをターゲットとした、プロモーション及び商談会の実施、広域周遊プランの造成
※台湾に関する取組は、市長会の「台湾との経済交流事業」内で連携し実施

○国内誘客対策事業・圏域観光の魅力アップ事業

- ・2025年大阪・関西万博からの誘客を図るため、万博テーマに沿った高付加価値やサステイナブルを意識した「山陰の日本一と人の魅力に会う旅」「山陰のまんなかで“第2のふるさと”を発見ロングステイ型旅行」の造成
- ・山陰インバウンド機構、せとうち観光推進機構等との広域連携によるプロモーション

(3) 次代につなぐ圏域づくり【保全・継承と活用】

○自然環境の豊かさ・保全に係る普及啓発

- ・体験型の学習プログラムの提供、水中ドローンを活用した普及啓発

(4) とともに歩む圏域づくり【連携と協働】

○圏域内の連携・交流推進

- ・「(仮称) 圏域8の字ルート整備推進会議」の立ち上げ（新規）
- ・「全国街道交流会議 第13回全国大会」の開催

○移住・定住等促進事業

- ・「地域にはばたけ！学生応援補助金(仮)」の創出により、圏域の学生が主体となった地域活動の支援（新規）

2 一般会計

01 事務局運営費

事務局運営費

事業名等	事務局運営費				
事業概要 中海・宍道湖・大山圏域市長会事務局の運営にかかる経費。 圏域市長会の円滑な運営を図るため、市長会規約第11条第1項の規定に基づき、事務局を置く。	令和4年度予算額		8,900,000 円		
	令和5年度予算額		9,300,000 円		
	財源内訳	国・県支出金		0 円	
		補助金		0 円	
		負担金	一般	4,300,000 円	
特定	5,000,000 円				
1. 事業内容 (1) 各種会議の開催 総会 幹事会 企画担当課長会 産業振興担当課長会 観光振興担当課長会 環境保全担当課長会 総合戦略推進委員会 ほか (2) 事務局の運営					
2. 経費内訳					
	費目	R5 予算	R4 予算	比較	備考
	会議費	420,000	420,000	0	
	旅費	300,000	300,000	0	
	需用費	1,240,000	1,240,000	0	
	役務費	500,000	500,000	0	
	委託料	40,000	40,000	0	
	使用料及び賃借料	1,200,000	1,200,000	0	
	備品購入費	600,000	200,000	400,000	事務局 PC 更新
	人件費負担金①	5,000,000	5,000,000	0	事務局長人件費
	人件費負担金②	0	0	0	事務局員人件費
	計	9,300,000	8,900,000	△3,800,000	

1. 活力にあふれる圏域づくり（産業振興）

事業項目	01 圏域企業の産業連携支援事業			
事業名	圏域内企業情報データベースの充実、圏域内企業のビジネスマッチング			
事業概要			令和4年度予算額	10,500,000 円
			令和5年度予算額	10,350,000 円
	財源内訳	国・県支出金		0 円
		補助金		0 円
		負担金	一般	10,350,000 円
特定	0 円			

1. 事業内容

圏域内企業の取引拡大や連携促進等による圏域経済の活性化を図るため、圏域内の商工団体・行政で構成する「中海・宍道湖・大山圏域ものづくり連携事業実行委員会」（事務局：まつえ産業支援センター）へ業務委託し、ビジネスマッチング商談・展示会の開催等を行う。

(1) 圏域内企業情報データベースによる情報発信

圏域内企業間での産業連携や域外企業との新たな事業連携を促進するため、「圏域ものづくり.net」の掲載企業情報をさらに充実させ、圏域内外企業へ情報発信を行う。

(2) 圏域内企業のビジネスマッチング商談・展示会の開催

ビジネスマッチング商談会・展示会・名刺交換会を開催することで、販路拡大、共同開発、技術支援、業務提携の促進等、圏域経済の活性化を図る。

「ビジネスマッチング商談・展示会 2023」

期日：令和5年10月19日（木）

会場：米子コンベンションセンター（米子市末広町294）

2. 経費内訳

中海・宍道湖・大山圏域ものづくり連携事業実行委員会への委託料 10,350,000 円

02 事業費

事業項目	01 圏域企業の産業連携支援事業		
事業名	産学・医工連携事業		
事業概要		令和4年度予算額	10,970,000 円
圏域内の商工団体、自治体、国立大学、国立工業高等専門学校、研究機関等で構成する「中海・宍道湖・大山圏域産学・医工連携推進協議会」と連携し、圏域内企業の産学・医工連携支援を行う。		令和5年度予算額	10,970,000 円
	財源内訳	国・県支出金	0 円
		補助金	0 円
		負担金	一般
特定	0 円		
<p>1. 事業内容</p> <p>圏域の自治体、事業者、病院、国立大学等の産官学で行われている医工連携の取組促進により、産業振興、雇用創出等を図るため、圏域内の商工団体、自治体、国立大学等で構成する「中海・宍道湖・大山圏域産学・医工連携推進協議会」（事務局：米子市経済戦略課）へ業務委託し、産学・医工連携の取組における各種ニーズとシーズのマッチング機会の提供（入口支援）、研究への指導・助言等（開発支援）及び製品化された器具の販路開拓（出口支援）等、各段階における支援を行う。</p> <p>(1) 医療・福祉・介護機器の開発支援 ○ニーズ案件の試作・実用化・臨床化等支援 ○各種相談支援（マッチング支援、開発支援、販路開拓支援）</p> <p>(2) ニーズの調査・検討及び案件化 ○実現精度の高いニーズの具現化 ○圏域内各医療機関等のニーズ案件に関する調査及び検討</p> <p>(3) 普及広報活動 ホームページ、圏域企業ガイドブック、各協議会構成団体等による情報発信</p> <p>2. 経費内訳</p> <p>中海・宍道湖・大山圏域産学・医工連携推進協議会への委託料 10,970,000 円</p>			

事業項目	02 圏域内企業の海外展開支援事業		
事業名	海外商談会参加等支援事業		
事業概要		令和4年度予算額	750,000 円
海外で行われる商談会等に参加する圏域内の企業へ補助金交付を行い、海外展開やインバウンドの推進に繋がる取組を支援する。	財 源 内 訳	令和5年度予算額	3,000,000 円
		国・県支出金	0 円
		補助金	0 円
		負担金	一般
		特定	0 円

1. 事業内容

圏域内企業における自社製品・技術等の海外販路開拓及び外国人観光客の誘致に向けた海外商談会参加等の自主的な取組を支援する補助金を交付する。

海外商談会参加等支援補助金

海外商談会等へ参加する圏域内の企業に対し補助金を交付する。

- ・実施期間 令和5年5月～令和6年3月
- ・募集期間 令和5年5月～令和6年1月
- ・対象者 圏域5市に本社または主たる事業所を有する中小企業等または複数の企業により構成されるグループ・団体
- ・補助金額 原則、補助対象経費の1/2 補助上限額10万円
ただし、以下の場合、①～②に応じた補助率、補助上限額。
①韓国、中国、インド及び台湾での商談会等に参加する場合
補助対象経費の2/3 補助上限額15万円
②前年度以前（H24～）に補助金の交付を受けている場合
補助対象経費の1/4 補助上限額10万円
- ・申請回数限度 同一の申請者は、同一年度に1回かつ通算3回を申請限度とする。
ただし、韓国、中国、インド及び台湾での商談会等参加の場合は、通算4回目の申請を認める。

2. 経費内訳

海外商談会参加等支援補助金 3,000,000 円

事業項目	02 圏域内企業の海外展開支援事業		
事業名	インドとの経済交流事業		
事業概要		令和4年度予算額	14,416,000 円
インド・ケララ州との経済交流拡大を目指す覚書(MOU)の締結に基づき、企業進出やビジネスマッチング等の実現のため、密接な協力体制の構築支援、情報交換、視察交流等を行う。	財 源 内 訳	令和5年度予算額	15,421,000 円
		国・県支出金	0 円
		補助金	申請中 0 円
		負担金	一般 15,421,000 円 特定 0 円
1. 事業内容			
<p>圏域とインド・ケララ州を繋ぐグローバルな視野を持つIT等人材の圏域内企業への就職、日印企業連携推進を目的に、圏域の産業・経済団体、国立大学、山陰インド協会、自治体等で構成する「中海・宍道湖・大山圏域インド人材受入・企業連携推進事業実行委員会」(事務局：まつえ産業支援センター)へ業務委託し、ケララ州の学生等(IT等理系分野)に対する圏域内企業へのインターンシップ及び日本語教育を実施する。</p> <p>また、ケララ州側が開催する「Japan Mela (ジャパンメラ)」(印日商工会ケララ主催)に出展し、圏域内企業の商談機会を設け、圏域内企業の海外進出支援を図る。</p>			
(1) インド留学生等のインターンシップ			
<p>①ラジャギリ工業技術大学から島根大学への交換留学生(最大4人) インターンシップ期間：留学期間6カ月のうち2カ月程度</p> <p>②インド・ケララ州の大学生(6人・コチ理工大学/ラジャギリ工業技術大学/SCMS) インターンシップ期間：2週間以内</p>			
(2) (1)の学生に対するオンライン日本語教育支援			
<p>島根大学留学生(上記①)教育期間：4月～8月 インターンシップ生(上記②)教育期間：6月～2月</p>			
(3) ビジネスピッチコンテスト			
<p>上位入賞者への賞品については、日本までの渡航費の補助(島大の交換留学生として来圏する場合における支援)などを行い、圏域での就職に向けた活動を支援し、圏域への定着率の向上に向けた内容で検討。</p>			
(4) 日印交流イベント「Japan Mela (ジャパンメラ)」参加			
参加企業数：10社程度			
2. 経費内訳			
○インド人材受入・企業連携推進事業実行委員会への委託費 9,746,000 円			
・インターンシップ 6,077,000 円 (①)			
・日本語教育支援 3,000,000 円 (②)			
・ビジネスピッチコンテスト 1,874,000 円 (③)			
・事務費 600,000 円			
【財源(上記①②③対象)】			
(一社)自治体国際化協会(クレア)			
自治体国際協力促進事業(モデル事業)助成金(10/10助成、上限5,000千円)			
○Japan Mela(ジャパンメラ)参加費 3,870,000 円			

02 事業費

事業項目	02 圏域内企業の海外展開支援事業																
事業名	台湾との経済交流事業																
事業概要		令和4年度予算額	4,588,000 円														
市長会と台北市との新たな覚書の締結に合わせ、セミナーを開催し海外展開への機運の醸成を図る。また春節前建国花市に合わせて圏域 PR を行う。		令和5年度予算額	11,100,000 円														
	財源内訳	国・県支出金	0 円														
		補助金	0 円														
		負担金	一般	11,100,000 円													
特定	0 円																
<p>1. 事業内容 台北市との間で締結した交流促進覚書を具体化するため、海外展開への支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業推進のための支援組織（構成各市、ブロック経済協議会、圏域観光局、JETRO 等を想定）を立上げ、支援体制の充実を図る。 ・圏域企業への台湾に係る意識調査、台湾でのアンケート調査等を実施し、圏域、台湾、双方のニーズ等の調査を行い、経済交流の活性化に向けた取り組みを促進。 ・台湾での経済活動促進に向けたセミナー等の開催。 ・春節前建国花市、北投温泉祭に合わせた圏域 PR、圏域内企業の「フード台北（台北国際食品展）」、「TJ Connect Fair」（日台総合産業マッチング大会）等への参加を支援。 ・台北市との交流促進のため、文化交流イベントを開催。 <p>2. 経費内訳</p> <table> <tr> <td>(1) 事業推進のための支援組織設立</td> <td>300,000 円</td> </tr> <tr> <td>(2) 圏域内企業の海外展開に関するアンケート調査</td> <td>2,000,000 円</td> </tr> <tr> <td>(3) アンケート調査に基づき、台湾での動向調査</td> <td>2,000,000 円</td> </tr> <tr> <td>(4) 圏域内企業、支援機関、行政向けの台湾セミナー開催</td> <td>300,000 円</td> </tr> <tr> <td>(5) フード台北、TJ Connect Fair 等への参加企業支援</td> <td>1,500,000 円</td> </tr> <tr> <td>(6) 建国花市、北投温泉祭への参加</td> <td>4,000,000 円</td> </tr> <tr> <td>(7) 台湾での文化イベント開催</td> <td>1,000,000 円</td> </tr> </table> <p>【財源】 (デジタル田園都市国家構想交付金) 1/2 助成</p>				(1) 事業推進のための支援組織設立	300,000 円	(2) 圏域内企業の海外展開に関するアンケート調査	2,000,000 円	(3) アンケート調査に基づき、台湾での動向調査	2,000,000 円	(4) 圏域内企業、支援機関、行政向けの台湾セミナー開催	300,000 円	(5) フード台北、TJ Connect Fair 等への参加企業支援	1,500,000 円	(6) 建国花市、北投温泉祭への参加	4,000,000 円	(7) 台湾での文化イベント開催	1,000,000 円
(1) 事業推進のための支援組織設立	300,000 円																
(2) 圏域内企業の海外展開に関するアンケート調査	2,000,000 円																
(3) アンケート調査に基づき、台湾での動向調査	2,000,000 円																
(4) 圏域内企業、支援機関、行政向けの台湾セミナー開催	300,000 円																
(5) フード台北、TJ Connect Fair 等への参加企業支援	1,500,000 円																
(6) 建国花市、北投温泉祭への参加	4,000,000 円																
(7) 台湾での文化イベント開催	1,000,000 円																

02 事業費

事業項目	03 山陰いいものマルシェプロジェクト		
事業名	山陰いいものマルシェプロジェクト		
事業概要		令和4年度予算額	7,500,000 円
山陰の中核地域である中海・宍道湖・大山圏域の官民組織が連携し、山陰が誇る「いいもの」を再発掘するとともに、JR西日本等とタイアップし、全国へ情報発信をする。		令和5年度予算額	7,500,000 円
	財源内訳	国・県支出金	0 円
		補助金	0 円
		負担金	一般
特定	0 円		
<p>1. 事業内容</p> <p>JR西日本、山陰中央新報社、JETRO、中海・宍道湖・大山ブロック経済協議会及び圏域市長会の5者で構成する「山陰いいものマルシェプロジェクト実行委員会」（事務局：松江商工会議所）と協定を締結し実施する。</p> <p>圏域内マルシェ及び商談会については、再度5市を一巡開催し、「地産外商」の一層の拡大を図る。</p> <p>(1) 圏域内でのマルシェ及び商談会の開催</p> <p>(2) 圏域外でのマルシェ開催、協力事業</p> <p>2. 経費内訳</p> <p>山陰いいものマルシェプロジェクト実行委員会への負担金 7,500,000 円</p>			

2. 訪ねてみたい圏域づくり（観光振興） 協定に基づき（一社）観光局が実施

事業項目	01 一社）圏域観光局への負担金			
事業名	一社）圏域観光局への負担金			
事業概要			令和4年度予算額	45,110,000 円
			令和5年度予算額	44,979,000 円
	一般社団法人中海・宍道湖・大山圏域観光局との協定に基づき、観光事業に対する負担金を支出する。	財 源 内 訳	国・県支出金	0 円
			補助金	0 円
			負担金	44,979,000 円
		特定	0 円	
<p>1. 事業内容</p> <p>・「訪ねてみたい圏域づくり観光振興事業」の実施に関する協定書（案） P23～P24 のとおり</p> <p>2. 経費内訳</p> <p>令和5年度中海・宍道湖・大山圏域観光局事業計画（案）・予算（案）に基づく内容については本事業計画 P21 以降を参照。</p> <p style="margin-top: 20px;">* 訪ねてみたい圏域づくり事業を一括計上</p>				

3. 次代につなぐ圏域づくり（保全・継承と活用）

事業項目	01 自然環境の保全・活用事業			
事業名	自然環境の豊かさ・保全に係る普及啓発			
事業概要			令和4年度予算額	2,450,000 円
			令和5年度予算額	2,250,000 円
	財源内訳	国・県支出金		0 円
		補助金		0 円
		負担金	一般	2,250,000 円
特定			0 円	
<p>圏域の次代を担う子どもたち等へ、自然環境に関する学習機会の提供等を行い、圏域の自然の豊かさや環境保全について普及啓発を図る。</p>				
<p>1. 事業内容</p> <p>ラムサール条約登録湿地である中海・宍道湖をはじめとする圏域の豊かな自然や環境について、圏域の子どもたち等へ体験を通して学習できる機会提供や情報発信企画等を行い、圏域の自然環境の普及啓発や保全、また、持続可能な開発目標（SDGs）に向けた取組の推進を図る。</p> <p>(1) 子ども探検スクールの開催</p> <p>圏域の豊かな自然や環境施設等を活用し、自然環境やSDGsについて、子どもたちが現地で学習できる機会等を提供する。</p> <p>①脱炭素をテーマとした施設見学、体験学習</p> <p>②中海・宍道湖の水鳥観察、水環境学習</p> <p>③海岸漂着ごみから学ぶ</p> <p>④会場市以外の圏域の取組紹介を行う</p> <p>(2) 自然環境の豊かさや保全等に係る情報発信</p> <p>各関係団体の取組との連携、ごみに関する意識啓発、ノベルティグッズの活用等により、圏域の自然環境の豊かさや保全等に係る普及啓発を図る。</p> <p>①水中ドローンを活用した海洋ごみに関する意識啓発・学習・展示</p> <p>②ノベルティグッズの作成</p> <p>2. 経費内訳</p> <p>○子ども探検スクールの開催 1,150,000 円</p> <p>○自然環境の豊かさや保全等に係る情報発信 1,100,000 円</p>				

4. とともに歩む圏域づくり（連携と協働）

事業項目	01 圏域情報の共有・発信				
事業名	圏域内外へのエリアプロモーション				
事業概要			令和4年度予算額	2,040,000 円	
			令和5年度予算額	180,000 円	
	圏域振興ビジョンに示す圏域の将来像、 ビジョンや市長会の活動の広報周知に努めるとともに、圏域内での一体感醸成、圏域外における認知度向上のための情報発信を行う。	財 源 内 訳	国・県支出金		0 円
			補助金		0 円
			負担金	一般	180,000 円
特定	0 円				
<p>1. 事業内容</p> <p>ホームページ等を活用した圏域内外への広報周知を実施する。</p> <p>2. 経費内訳</p> <p>○ホームページ運用管理委託料 180,000 円</p>					

02 事業費

事業項目	02 圏域内の連携・交流推進		
事業名	圏域内の連携・交流推進		
事業概要 圏域内の行政間や民間団体間、行政と民間団体等の更なる連携と交流を図る。	令和4年度予算額		7,310,000 円
	令和5年度予算額		6,391,000 円
	財源内訳	国・県支出金	0 円
		補助金	0 円
		負担金	一般
特定	2,450,000 円		
1. 事業内容			
<p>圏域で一体となって推進すべき事業の精査、検討を行い、各市、各団体間での連携・交流推進を図るとともに、特定の課題に対して各市間、および各団体との意見交換の場を設けるなど、連携を促進するための仕掛けづくりを行う。</p>			
(1) 中海・宍道湖・大山ブロック経済協議会との連携推進			
<p>合同勉強会を開催し、圏域の課題に対して共通認識を深めるとともに、相乗効果の高い事業展開を図る。</p>			
(2) 圏域内インフラの整備促進			
<p>圏域内のインフラ（中海架橋、米子道（蒜山 IC～境港間）、境港出雲道路、境港米子道路、境港整備、新幹線整備など）の整備促進に関する要望活動の実施するほか、特に道路整備については圏域の総意としての強い想いを継続的に国に訴え続けていくために「(仮称) 中海・宍道湖・大山圏域 8 の字ルート整備推進会議」を組織し、具体的な要望活動を展開するなど圏域一体となった取り組みを推進・強化する。</p>			
(3) 全国街道交流会議第 13 回全国大会の開催			
<p>新型コロナウイルス感染症の影響により中止した SDGs バスツアー及び本大会を、令和 5 年度に開催する。「小泉八雲の文学世界」共通テーマに、小泉八雲の感性で描かれた各地域の魅力を文化資源として磨き上げ、観光資源・交流資源として生かしていく。また、これからの圏域の発展のために必要な道となる「圏域 8 の字ルート」整備の機運醸成を図っていく。</p>			
2. 経費内訳			
○意見交換会、合同勉強会の開催経費			240,000 円
○圏域内インフラの整備促進に関する要望活動に係る経費			1,120,000 円
○中国横断新幹線（伯備新幹線）整備推進会議負担金			2,450,000 円
○全国街道交流会議第 13 回全国大会実行委員会負担金			2,581,000 円
計			6,391,000 円

02 事業費

事業項目	02 圏域内の連携・交流推進		
事業名	人材育成の共同化		
事業概要		令和4年度予算額	2,000,000 円
圏域内における人的交流の推進による一体感の醸成を図り、圏域を担う人材育成に向けた取組を行う。	財 源 内 訳	令和5年度予算額	1,700,000 円
		国・県支出金	0 円
		補助金	0 円
		負担金	一般
		特定	0 円
<p>1. 事業内容</p> <p>中海・宍道湖・大山圏域の未来を切り開く推進力となる人材育成を目的に、中海・宍道湖・大山ブロック経済協議会と共同で研修会を開催し、受講者が多彩な分野の講師による経験・理論を学んで視野を広げるとともに、企画力・想像力を磨く機会を提供する。同時に受講者同士の交流を通じて業種や地域の垣根を越えた人的ネットワークの構築を推進する。</p> <p>また、発明楽コンテストの開催支援を行う。</p> <p>(1) 官民が連携した人材育成研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 山陰まんなか未来創造塾の開催 「山陰まんなか未来創造塾実行委員会」と協定を締結し実施する。 <p>(2) 圏域未来人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 発明楽コンテスト開催支援 圏域の高校生を中心とした次世代の産業人材の育成及び技術・製品開発能力の向上に向けた機運醸成を目的とした発明楽コンテストに対し、支援をおこなう。 <p>2. 経費内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> ○山陰まんなか未来創造塾実行委員会への負担金 1,200,000 円 ○発明楽普及支援事業 500,000 円 計 1,700,000 円 			

02 事業費

事業項目	02 圏域内の連携と協働		
事業名	文化・スポーツ交流促進事業		
事業概要		令和4年度予算額	2,700,000 円
圏域内の歴史資源、伝統芸能、スポーツ、芸術など、相互交流を推進することにより、魅力ある圏域を知り、心豊かな生活環境を創出する。	財 源 内 訳	令和5年度予算額	2,700,000 円
		国・県支出金	0 円
		補助金	0 円
		負担金	一般
		特定	0 円
<p>1. 事業内容</p> <p>圏域の児童を対象としたスポーツフェスティバルの開催及び、各種団体による交流促進イベントを開催し、圏域住民の交流促進の活性化を図る。</p> <p>(1) スポーツを通じた圏域交流イベントの開催 圏域の児童を対象に、「島根スサノオマジック」や「ガイナレ鳥取」等、圏域のプロスポーツチームが参画するスポーツイベントを開催する。</p> <p>(2) 伝統芸能の披露など交流事業への支援 各市で開催されるイベント（圏域内の伝統芸能の披露等）費用の一部を支援する。</p> <p>2. 経費内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツを通じた圏域交流イベントの開催 1,200,000 円 (スポーツ交流事業企画運営業務委託料 年2回開催) ・イベント交流事業の開催 1,500,000 円 (イベント交流事業委託料 @300千円×5市) 計 2,700,000 円 			

02 事業費

事業項目	02 圏域内の連携・交流推進		
事業名	圏域情報活用推進事業		
事業概要		令和4年度予算額	400,000 円
圏域市長会構成市等のあらゆる情報を、 圏域の連携事業に活用する。		令和5年度予算額	400,000 円
	財 源 内 訳	国・県支出金	0 円
		補助金	0 円
		負担金	一般
特定	0 円		
<p>1. 事業内容</p> <p>令和2年2月に締結した国立大学法人東京大学地域未来社会連携研究機構との協定に基づき、連携事業を実施する。東京大学地域未来社会連携研究機構との連携協力により、圏域が持つ強みを生かし、複雑にからみあった人口減少問題や圏域産業が有する課題を解決する政策立案（地域課題政策立案プログラム）を推進する。</p> <p>(1) 講演会の開催 令和5年度は機構から教授等を招き、講演会等を実施する。</p> <p>(2) 意見交換会の実施 東京大学地域未来社会連携研究機構と圏域の課題について意見交換を行う。</p> <p>2. 経費内訳</p> <p>○旅費（機構職員との打ち合わせ等） 200,000 円</p> <p>○セミナー等の開催経費 200,000 円</p> <p>計 400,000 円</p>			

02 事業費

事業項目	02 圏域内の連携と協働		
事業名	中海・宍道湖レガッタ開催支援事業		
事業概要		令和4年度予算額	200,000 円
中海・宍道湖の自然環境の保全と賢明利用を推進するため、中海・宍道湖レガッタの開催を支援する。	財 源 内 訳	令和5年度予算額	200,000 円
		国・県支出金	0 円
		補助金	0 円
		負担金	一般
		特定	0 円
<p>1. 事業内容</p> <p>中海・宍道湖を活用したレガッタ大会開催に係る支援</p> <p>中海・宍道湖レガッタ実行委員会に補助金を交付し、大会の円滑な実施を支援するとともに自然環境の保全・活用、エコツーリズムといった観光振興及び圏域内外の交流人口の拡大を図る。</p> <p>2. 経費内訳</p> <p>中海・宍道湖レガッタ開催支援補助金 200,000 円</p>			

02 事業費

事業項目	02 圏域内の連携・交流推進		
事業名	移住・定住等促進事業		
事業概要		令和4年度予算額	2,830,000 円
圏域人口60万人の維持に向けた移住・定住等の促進を図る。		令和5年度予算額	3,330,000 円
	財 源 内 訳	国・県支出金	0 円
		補助金	0 円
		負担金	一般
特定	1,300,000 円		
<p>1. 事業内容</p> <p>圏域内の人口を維持していくために、婚活イベントによる結婚に向けた機運の醸成や、東京大学や島根大学と連携した関係人口の創出を図る。</p> <p>(1) 婚活事業による移住・定住の促進に向けた取組 圏域内に居住、通勤通学または定住を考える独身男女を対象とした婚活イベントを開催することで、出会いの場を創出し、圏域への移住・定住の促進を図る。</p> <p>(2) 東京大学との圏域キャンパス事業 東京大学に通う学生との関わりを持つことで関係人口の創出を図る。また圏域を研究フィールドとして提供し、東京大学と圏域住民及び地元大学との交流を図る。</p> <p>(3) 島根大学・若者を共に育てるプロジェクト 島根大学の学生に、圏域の特色・戦略・課題を学ぶ機会を創出し、将来的に圏域で活躍する人材の育成と、若者の地域への定着促進を図る。</p> <p>(4) 圏域学生地域活動支援事業 圏域内の学生が主体となり、地域の魅力発信や活性化に資する活動に対して助成を行う。圏域に対してより愛着を持つきっかけを作り、関係人口の拡大を図る。</p> <p>2. 経費内訳</p> <p>○結婚支援の経費（出会いの場実行委員会への負担金） 1,300,000 円 【財源】結婚に向けた出会いの機会等創出事業補助金（県：鳥取県 1/2）</p> <p>○東京大学との圏域キャンパス事業に係る経費 450,000 円 （体験活動・フィールドワーク経費）</p> <p>○島根大学・若者を共に育てるプロジェクトに係る経費 1,080,000 円 （島根大学への補助金）</p> <p>○地域にはばたけ！学生応援補助金（仮） 500,000 円</p> <p>計 3,330,000 円</p>			

02 事業費

事業項目	03 安心して暮らすことのできる環境づくり事業		
事業名	防災対策の充実		
事業概要		令和4年度予算額	500,000 円
安全に安心して暮らすことのできる環境づくりを目指し、圏域が一体となり、広域的な防災体制の構築に向けた取組を行う。		令和5年度予算額	500,000 円
	財 源 内 訳	国・県支出金	0 円
		補助金	0 円
		負担金	一般
特定	0 円		
<p>1. 事業内容</p> <p>中海・宍道湖・大山圏域防災連絡協議会の開催及び防災資機材等の購入</p> <ul style="list-style-type: none"> ○連絡協議会の開催（連絡協議会幹事市：米子市） ○通信訓練の実施 ○防災資機材等の購入 <p>2. 経費内訳</p> <p>防災資機材の購入経費等 500,000 円</p> <p>[連絡協議会幹事市（参考）]</p> <p>R5 幹事市：米子市</p> <p>※H30：米子市、R1：安来市、R2：出雲市、R3：松江市、R4：境港市 左記輪番制</p>			

2 特別会計

1 環日本海貨客船航路就航支援補助金

事業項目	01 環日本海貨客船航路就航支援補助金		
事業名	定期貨客船航路就航支援補助金		
事業概要		令和4年度予算額	－ 円
東アジアに向けたゲートウェイ機能の継続のため、鳥取県と共同で、環日本海貨客船航路の運航を支援する。		令和5年度予算額	－ 円
	財 源 内 訳	国・県支出金	－ 円
		補助金	－ 円
		負担金	一般
特定	－ 円		
<p>※今後の運航再開への状況等を踏まえて、必要に応じて、別途補正予算対応を検討する。</p> <p>1. 事業内容</p> <p>定期貨客船航路就航支援補助金</p> <p>圏域の基幹的な物流、観光インフラであることから、運航会社の自立的な運航への移行を支えながら、航路の定着、安定化を図るため、運航に必要な経費の一部を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1航次につき、運航経費のうち固定経費の1/10（上限1,000千円） $\text{@}1,000 \text{ 千円} \times 52 \text{ 航次} \times 3/10 = 15,600 \text{ 千円}$ ・ 負担割合：鳥取県 7/10、市長会 3/10 <p>2. 経費内訳</p> <p>環日本海貨客船航路就航支援補助金</p> <p>※今後の運航再開への状況等を踏まえて、必要に応じて別途補正予算対応。</p> <p>※令和元年11月からの運休、運航会社の韓国海洋水産部への運航免許返納（令和2年4月）があり、令和2年度以降運航なし。</p> <p>[参考]</p> <p>令和2年度当初予算（構成市の負担額） 出雲市・松江市・米子市各 2,000 千円 安来市 1,000 千円 境港市 8,600 千円</p>			

参 考

令和 5 年度

一般社団法人 中海・宍道湖・大山圏域観光局

当初予算（案）及び事業計画（案）

「訪ねてみたい圏域づくり観光振興事業」の実施に関する協定書（案）

中海・宍道湖・大山圏域市長会（以下「甲」という。）と一般社団法人中海・宍道湖・大山圏域観光局（以下「乙」という。）とは、「訪ねてみたい圏域づくり観光振興事業（以下「事業」という。）」の実施に関し、次のとおり協定を締結する。

（事業の目的）

第1条 中海・宍道湖・大山圏域（以下「本圏域」という。）の各自治体における観光に関わる共通課題等について連絡調整を行い、本圏域の総合的かつ一体的な観光振興を図ることを目的とする。

（事業の実施）

第2条 乙は、前条に規定する目的を達成するため、別紙事業計画書に基づき、事業を実施するものとする。

（甲の負担）

第3条 甲は、別紙事業計画書に掲げる事業実施に要する経費（原則、令和6年3月31日までに事業が完了するものに限る。ただし、令和5年度出納整理期間内に支払が完了するものを含む）を負担するものとする。

2 前項の規定により甲が負担する金額は、44,979,000円とする。

（負担金の支払）

第4条 乙は、甲の指示に従い、前条第2項に規定する負担金を甲に対し請求するものとする。

2 甲は、前項の規定による請求書を受領したときは、その日から起算して30日以内に、当該請求金額を支払わなければならない。

（概算払）

第5条 乙は、前条の規定にかかわらず、必要な経費の支払いを受けようとするときは、概算払を甲に請求することができるものとする。なお、請求時期及び金額については、甲、乙協議の上、別途定めるものとする。

2 概算払の金額は第3条に規定する額を限度とする。

3 甲は、第1項の請求書を受領したときは、その日から起算して30日以内に、当該概算払請求額を支払わなければならない。

（収支決算書等の提出）

第6条 乙は、事業が終了したときは、遅滞なく、事業実施に係る収支決算書を甲に提出しなければならない。

2 前項の収支決算書には、事業報告書（任意様式）、チラシ及び写真等、事業の内容が確認できる書類を添付しなければならない。

（負担金の返納）

第7条 前条の規定による収支決算の結果、支出総額が甲の負担金額に満たない場合は、乙は甲の指示に従い、甲に対して、その差額を返納しなければならない。

（協定の変更）

第8条 甲又は乙は、この協定に定める事項について変更する必要があるときは、速やかに、相手

方に対し、当該変更に係る協議を申し出なければならない。

- 2 甲又は乙は、前項の規定による申出があったときは、誠意をもって協議に応じなければならない。
- 3 前項の規定による協議によりこの協定の内容を変更する必要があるときは、甲及び乙は、速やかに、当該変更に係る協定を締結するものとする。
(疑義等の決定)

第9条 この協定に定めがない事項又はこの協定に関し疑義が生じた事項の取扱いについては、必要に応じ、甲、乙協議の上、定めるものとする。

この協定の締結を証するため、本書2通を作成し、甲、乙記名押印の上、各自その1通を保有する。

令和5年4月1日

甲 島根県松江市玉湯町湯町1793番地
中海・宍道湖・大山圏域市長会
会 長 伊 木 隆 司

乙 島根県松江市玉湯町湯町1793番地
一般社団法人中海・宍道湖・大山圏域観光局
理事長 矢 野 正 紀

令和5年度 事業運営方針



【活動理念】

- ・ コロナ前を超える圏域ぐるみの観光地域づくりで地方創生

【活動方針】

- ・ 圏域周遊で観光消費を高め域内循環
- ・ 多様な事業者等と連携し、新たな観光のあり方への挑戦を地域ぐるみで推進
- ・ 顧客と地域の人の満足度の向上

【活かす資源】

- ・ 圏域の歴史、生活文化、自然、景観、観光施設、宿泊施設、多様な産業、地域資源を支える人
- ・ 2つの空港、港湾、鉄道、高速道路など交通ネットワーク
- ・ 北東アジアとの近接性
- ・ 圏域に住む人、訪れる人の誇りと愛着マインド

【目標】

- ・ 2025年大阪・関西万博を契機とした観光戦略の立案
- ・ 地域の魅力ある資源をストーリーで紡ぎ圏域全体の魅力度向上
- ・ 人と人の交流を組み込み「ひかれあう共感」に付加価値と心の豊かさ、絆の醸成
- ・ コンシエルジュ機能の向上とネットワーク化によるおもてなし向上、観光客と地元双方の関係性構築
- ・ 住む人、訪れる人双方にメリットをもたらすキャッシュレス、免税店、多言語化等の受入れ環境整備
- ・ 観光関連データを活かす圏域内周遊促進、滞在時間延長・拡大
- ・ 圏域周辺、麒麟のまち観光局等との連携強化

令和5年度 主要事業



【当初予算要求額：73,549千円】

- ・クルーズ船寄港時のおもてなし
- ・圏域インバウンドプロモーション

- ・クルーズ船交流イベント
- ・外国船籍観光案内

- ・欧米豪向けHP、Facebook、Instagram
- ・外国人による「山陰まんなか！歴史文化を知り、ご縁を結ぶ広域周遊プラン」造成・流通受入環境整備事業
- ・上海現地商談会
- ・中国WeChat動画配信

- ・国内広域観光プロモーション
- ・人口集積地(発地)誘客プロモーション
- ・圏域観光再生支援プログラム

- ・山陰まんなかambassadorの活用
- ・日本語HP、Facebook、Instagram
- ・セレクトリッププロモーション

- ・F D A 路線と連携した誘客ツアー造成支援
- ・「山陰の日本人と人の魅力に出会う旅」造成・流通環境整備事業
- ・周遊促進キャンペーン

国内誘客
対策事業
【18,900千円】

圏域観光の
魅力アップ事業
【20,310千円】

外国人誘客
対策事業
【25,339千円】

圏域観光の
連携基盤強化
【9,000千円】

- ・山陰のまんなかで「第2のふるさと」を発見 ロングステイ型旅行商品造成事業
- ・観光案内所ネットワーク化、コンシエルジュ育成事業
- ・観光データによるマーケティング・戦略策定事業

- ・圏域周遊促進および受入環境充実

- ・圏域観光局総会、理事会
- ・山陰DMOとの連携強化

※朱書き：新規事業、青字：継続事業

一般社団法人中海・宍道湖・大山圏域観光局 令和5年度当初予算（案）

資料6-3

【歳入】

項	目	R4年度予算		R5年度予算		当初予算 比較	備	考
		当初予算額	補正額 1号・2号	現計予算額	予算額			
負担金		45,110	0	45,110	44,979	△ 131		
		45,110		45,110	44,979	△ 131		
会費		6,840	0	6,840	6,840	0		
	正会員	6,570		6,570	6,570	0	5市7町村3,070	観光協会会議150
	賛助会員	270		270	270	0	賛助会員5団体	
補助金		15,470	△ 1,700	13,770	17,230	1,760	観光庁補助金 ※商談会1,750+ご縁周遊4,000+オンライン1,800+第2のふるさと4,680+DX5,000	
繰越金		3,910	2,936	6,846	4,500	590	前年度繰越金 ※クルーズ1,500+予備費、運営費 3,000	
諸収入		3,000		3,000	0	△ 3,000		
合 計		74,330	1,236	75,566	73,549	△ 781		

(単位：千円)

【歳出】

項	目	R4年度予算		R5年度予算		当初予算 比較	財 源 内 訳			備	考
		当初予算額	補正額 1号・2号	補正後予算 額	予算額		負担金	会費	補助金		
外国人誘客対策事業		25,240	△ 2,300	22,940	25,339	99	17,489	0	5,750	2,100	
	クルーズ船おもてなし事業	2,000		2,000	1,639	△ 361	1,639				
	インバウンドプロモーション	23,240	△ 2,300	20,940	23,700	460	15,850		5,750	2,100	
国内誘客対策事業		24,400	1,000	25,400	18,900	△ 5,500	17,100	0	1,800	0	
	国内広域観光プロモーション	6,600		6,600	4,000	△ 2,600	4,000				
	人口集積地（発地型）誘客プロモーション	7,300	500	7,800	8,400	1,100	8,400				
	圏域観光再生支援プログラム	10,500	500	11,000	6,500	△ 4,000	4,700		1,800		
圏域観光の魅力アップ事業		16,500	1,500	18,000	20,310	3,810	10,390	240	9,680	0	
	圏域周遊促進及び受入環境充実	16,500	1,500	18,000	20,310	3,810	10,390	240	9,680		
事務局費	事務局運営費	6,250		6,250	6,600	350		6,600			嘱託職員人件費ほか
予備費	予備費	1,940	1,036	2,976	2,400	460				2,400	前年度繰越金
合 計		74,330	1,236	75,566	73,549	△ 781	44,979	6,840	17,230	4,500	

(単位：千円)

令和5年度 中海・宍道湖・大山圏域観光局 事業計画（案）

02 事業費

2 訪ねてみたい圏域づくり（観光振興）

協定に基づき圏域DMOが実施

事業項目	01 外国人誘客対策事業		
事業名	クルーズ客船寄港時のおもてなし		
事業概要	令和4年度当初予算額		2,000,000 円
	令和5年度予算額		1,639,000 円
クルーズ船寄港時、境夢みなとターミナル等にて交流イベントや観光案内を実施するなど、来訪する観光客の周遊促進と満足度アップを図る。	財 源 内 訳	市長会負担金	1,639,000 円
		DMO会費	0 円
		国・県支出金	0 円
		補助金	0 円
		その他	0 円
1. 事業内容			
(1) 岸壁における観光案内・交流イベントの実施 1,314,000 円			
<ul style="list-style-type: none"> クルーズ客船寄港地である境港市を中心に、市長会5市が協力して、クルーズ客船乗客及びクルー向けの交流イベント（伝統芸能披露、日本文化体験 等）や観光案内を行う。 			
(2) 外国語観光案内業務及びボランティアの募集登録・管理 325,000 円			
<ul style="list-style-type: none"> 外国語による観光案内ができる通訳ボランティアの募集・登録を行い、ボランティアによる観光案内業務を実施。 中海・宍道湖観光協会会議に委託 ※対応可能言語；英語、韓国語、中国語、その他 			
■令和5年度のクルーズ船寄港回数を15回と見込む。			
2. 経費内訳			
		DMO予算額	
・観光案内・交流イベントの実施に係る経費		1,314,000 円	
・観光案内ボランティア業務に係る経費		325,000 円	
計		1,639,000 円	

事業項目	01 外国人誘客対策事業		
事業名	圏域インバウンドプロモーション		
事業概要		令和4年度当初予算額	23,240,000 円
圏域を一体的に発信する利点を活かし、重要ターゲット国* を定め、J N T O、山陰DMOと役割分担し、国別に有効な観光プロモーションを実施する。 *重要ターゲット国・・・山陽方面に訪訪する欧米豪、直通及び近隣の国際路線による東アジア（台湾、香港、上海）	財源内訳	令和5年度予算額	23,700,000 円
		市長会負担金	15,850,000 円
		DMO会費	0 円
		国・県支出金	0 円
		補助金 観光庁	5,750,000 円
		その他	2,100,000 円
1. 事業内容			
(1) 海外への観光プロモーションの実施			
○欧米豪向けプロモーション			
<ul style="list-style-type: none"> J N T O（日本政府観光局）を活用したプロモーション 			
	J N T O賛助金		300,000 円
	VISIT JAPAN トラベル&MICE マートへの出展		400,000 円
	・英語版ホームページやメディアを活用した情報発信		2,000,000 円
○東アジア向けプロモーション			
<ul style="list-style-type: none"> 一畑トラベル台湾事務所による現地情報発信 			
			300,000 円
<ul style="list-style-type: none"> 訪日外国人向けサイト等メディアを活用した情報発信 			
			4,000,000 円
<ul style="list-style-type: none"> 中国向けプロモーション 			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>※観光庁 訪日外国人旅行者周遊促進事業補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> 現地商談会（上海）（新規）補助率 1/2 </div>			
			3,500,000 円
<ul style="list-style-type: none"> 外国人による「山陰まんなか！歴史文化を知り、ご縁を結ぶ 広域周遊プラン」造成・流通受入環境整備事業（香港、中国） 			
			10,000,000 円
<ul style="list-style-type: none"> （継続）補助率 2/5 			
<ul style="list-style-type: none"> 「縁結び」をテーマとした体験コンテンツの造成。繁体字、簡体字による音声ガイドの整備。 			
○WEBを活用した情報発信			
<ul style="list-style-type: none"> S N S（Facebook, Instagram 等）運用委託 			
			1,700,000 円
<ul style="list-style-type: none"> wechat を活用した情報発信（ライブ配信） 			
			1,500,000 円
2. 経費内訳			
		DMO予算額	
	・欧米豪向けプロモーション		2,700,000 円
	・東アジア向けプロモーション		17,800,000 円
	・WEBを活用した情報発信		3,200,000 円
	計		23,700,000 円

事業項目	02 国内誘客対策事業			
事業名	国内広域観光プロモーション			
事業概要		令和4年度当初予算額	6,600,000 円	
	国内旅行市場に大きな成長は見込めないが、全体に占める観光消費は高いことから広域的に多様な情報を発信して誘客を促進し、圏域への経済効果を高める。		令和5年度予算額	4,000,000 円
		財 源 内 訳	市長会負担金	4,000,000 円
			D M O 会費	0 円
			国・県支出金	0 円
			補助金	0 円
その他	0 円			

1. 事業内容

(1) WEBによるプロモーション

- ・日本語版ホームページの管理・運営 3,000,000 円
圏域周遊促進機能(セレクトリップ)の維持管理、山陰まんなか観光局公認アンバサダーと連携して運営し、SNSを活用した魅力の発信を図る。
- ・SNSを活用したWEB広告、国内の観光需要を踏まえた情報発信 1,000,000 円

2. 経費内訳

- | | |
|----------------|-------------|
| ・WEBによるプロモーション | DMO予算額 |
| | 4,000,000 円 |
| 計 | 4,000,000 円 |

事業項目	02 国内誘客対策事業				
事業名	人口集積地（発地型）誘客プロモーション事業				
事業概要			令和4年度当初予算額	7,300,000 円	
	人口集中地域である大都市部をターゲットとし、圏域の魅力や観光資源を積極的に情報発信し、圏域の認知度向上、観光誘客を図る。		令和5年度予算額		8,400,000 円
			財 源 内 訳	市長会負担金	8,400,000 円
				D M O 会費	0 円
				国・県支出金	0 円
				補助金	0 円
その他	0 円				
1. 事業内容					
(1) 基幹交通機関と連携した観光プロモーションの実施					
・ J R と連携した誘客事業（5市が連携した誘客キャラバン）			800,000 円		
・ 圏域発着航空便の利用促進事業					
F D A 路線と連携した誘客促進事業			3,000,000 円		
「21世紀出雲空港整備利用促進協議会」及び「米子空港利用促進懇話会」が実施する両空港の冬季利用促進事業			1,500,000 円		
(2) W E B 以外を活用したプロモーションの実施 2,000,000 円					
・ ラジオ番組（中四国ライブネット）を活用した情報発信					
・ サービスエリアや雑誌媒体等、W E B 以外を活用した情報発信					
(3) 足立美術館展を起点とした北海道プロモーションの実施 1,100,000 円					
・ 北海道立近代美術館（札幌市）にて行われる、足立美術館展に合わせて情報発信、誘客事業を実施					
2. 経費内訳					
			D M O 予算額		
・ 基幹交通機関と連携した観光プロモーション			5,300,000 円		
・ W E B 以外を活用したプロモーション			2,000,000 円		
・ 足立美術館展を起点とした北海道プロモーション			1,100,000 円		
計			8,400,000 円		

事業項目	02 国内誘客対策事業		
事業名	圏域観光再生支援プログラム		
事業概要		令和4年度当初予算額	10,500,000 円
引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている観光産業の再生を支援する。	財 源 内 訳	令和5年度予算額	6,500,000 円
		市長会負担金	4,700,000 円
		DMO会費	0 円
		国・県支出金	0 円
		補助金 観光庁	1,800,000 円
		その他	0 円
1. 事業内容			
(1) 周遊促進キャンペーン			2,000,000 円
・圏域内の素材をテーマとした周遊促進を図る。			
(2) 圏域の魅力を活用した観光需要創出事業			
・「山陰の日本一と人の魅力に出会う旅」造成・流通環境整備業務			4,500,000 円
<p>※観光庁 訪日外国人旅行者周遊促進事業補助金（継続） 補助率 2/5</p> <p>圏域内の日本一となっている農水産物、観光施設、建造物等及びそれらに携わっている人をフックにし、大阪万博からの誘客を見据えたテーマを設定したツアーを造成する。</p>			
2. 経費内訳			
・周遊促進キャンペーン			DMO予算額 2,000,000 円
・圏域の魅力を活用した観光需要創出事業			4,500,000 円
計			6,500,000 円

事業項目	03 圏域観光の魅力アップ事業		
事業名	圏域周遊促進及び受入環境充実		
事業概要		令和4年度当初予算額	16,500,000 円
地域連携DMOの役割である「かせげる圏域づくり」を目指し、圏域観光の魅力充実させ、国内外から圏域へ来訪する観光客の受け入れの充実を図るなど、リピーターの確保に繋がる取組を実施する。	財源内訳	令和5年度予算額	20,310,000 円
		市長会負担金	10,390,000 円
		DMO会費	240,000 円
		国・県支出金	0 円
		補助金 観光庁	9,680,000 円
		その他	0 円
1. 事業内容			
(1) 外国人観光客受入環境整備の実施			1,000,000 円
<ul style="list-style-type: none"> ・表示物等整備（多言語化支援（翻訳サービス、観光庁直轄事業の活用）） ・観光案内所ネットワーク化・コンシェルジュ育成事業 ・キャッシュレス化の推進と免税店登録拡大の研修会など業種別連絡会を通じた取組み 			
(2) 各種イベント時の広告宣伝及びノベルティ・パンフレット作成等			1,500,000 円
<ul style="list-style-type: none"> ・美保基地航空祭等イベント時の出展 			
(3) 長期滞在型旅行商品造成事業			
<ul style="list-style-type: none"> ・山陰のまんなかで“第2のふるさと”を発見ロングステイ型旅行商品造成事業 			
			11,700,000 円
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>※観光庁 訪日外国人旅行者周遊促進事業補助金（継続） 補助率 2/5</p> <p>圏域の歴史文化、産業等の体験とそれに携わる人や職人との交流を通じ、当圏域が「第2のふるさと」となるような商品を造成する。造成にあたっては大阪万博からの誘客を見据え、高付加価値やサスティナブルを意識する。また、観光客と地域・人を繋ぐコンシェルジュの育成に取り組む。</p> </div>			
(4) 過年度事業項目の磨き上げ、販売促進			1,000,000 円
<ul style="list-style-type: none"> ・過年度に実施したコンテンツ造成事業や旅行商品造成事業について、事業実施後の磨き上げや更なる販路拡大をおこなう。 			
(5) 観光関連データを活用した周遊観光促進			
<ul style="list-style-type: none"> ・観光データによるマーケティング・戦略策定事業 			5,000,000 円
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>※観光庁 訪日外国人旅行者周遊促進事業補助金（調査・戦略策定）</p> <p>定額上限1,000万円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データに基づいた、旅行者に対し訴求力のある取組を実施するためのマーケティング調査・戦略の策定。大阪万博誘客戦略の策定も視野に入れる。 </div>			
<ul style="list-style-type: none"> ・観光予報プラットフォームの活用 			110,000 円

2. 経費内訳	DMO予算額
・外国人観光客受入環境整備	1,000,000 円
・各種イベント時の広告宣伝及びノベルティ、 パンフレット作成等経費	1,500,000 円
・長期滞在型旅行商品造成事業	11,700,000 円
・過年度事業項目の磨き上げ、販売促進	1,000,000 円
・観光関連データを活用した周遊観光促進	5,110,000 円
計	20,310,000 円

事業項目	04 中海・宍道湖・大山圏域観光局事務局運営費			
事業名	中海・宍道湖・大山圏域観光局の運営			
事業概要		令和4年度当初予算額	6,250,000 円	
	圏域市長会とブロック経済協議会並びに観光協会会議が連携し、地域連携DMO組織として圏域全体の発展を見据え円滑な事務局運営体制を図る。		令和5年度予算額	6,600,000 円
財 源 内 訳		市長会負担金		0 円
		DMO会費		6,600,000 円
		国・県支出金		0 円
		補助金		0 円
	その他		0 円	
<p>1. 事業内容</p> <p>(1) 圏域観光局総会・理事会の開催</p> <p>(2) 山陰DMOとの連絡会の開催</p> <p>(3) 観光局の運営に係る嘱託職員等の雇用</p> <p>(4) DMO組織の運営強化及び安定的な事務局運営の構築 職員用パソコンの更新 (4 台)</p>				
2. 経費内訳		DMO予算額		
・事務局運営費 (嘱託職員、アドバイザー経費を含む)		6,600,000 円		
計		6,600,000 円		